

日本における令和7年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



アンコンシャス・バイアスについて考えよう

あなたは、以下のプロフィールを見て、どんな人物をイメージしますか？



WBC 世界王者を4回防衛
プロボクサー



子どもは7歳&3歳の
育ち盛り 絶賛育休中



日本航空
新代表取締役社長 就任

みなさん、イメージした人物像と実際の答えは合っているでしょうか。

WBC 女子世界ミニフライ級王者 プロボクサー 黒木優子さん

子どもは7歳&3歳の育ち盛り 絶賛育休中 早田宝徳さん

日本航空 新代表取締役社長 就任 鳥取美津子さん

なんのためらいもなく、「プロボクサーは男性だろう」などと想像した方は、とっさに連想したその反応こそが「アンコンシャス・バイアス」です。「アンコンシャス・バイアス」とは、ある人や集団などの対象に対して、自分が気付かずにもっている偏った見方や考え方のことです。これは、過去の経験や慣習、環境などから身につくものであり、何気ない発言や行動の中に現れます。本人に自覚がないことが多く、問題に気付かれにくいという特徴があります。

アンコンシャス・バイアスに基づいた言動によって、受け取る側が嫌な気持ちになることがあります。一見ささいな事のように感じますが、家庭、学校、地域など様々な場面で差別を生み出すなど、多くの影響を及ぼしています。

アンコンシャス・バイアスに対処するためには、まずはアンコンシャス・バイアスには様々なものがあるということを知ることが大切です。例えば、「ステレオタイプバイアス」は、人の特徴をもとに思い込みや決めつけで判断してしまうことです。男性は外で働き、女性は家庭を守るものだ、などという考え方です。他にも様々なものがあり、200種類近くあるとも言われています。

そして、次にアンコンシャス・バイアスに気付くことが大切です。「自分にも無意識の思い込みがあるのかもしれない」と意識し、気付こうとすることがアンコンシャス・バイアスに対処する一歩になります。一人ひとりが異なる存在として受け入れられ、お互いに認め合う社会の実現を目指していきましょう。